



『水門から望む冬の斜光』／撮影者：矢野 真澄 様／撮影場所：海老川水門付近の遊歩道

公共施設の使用料を見直し 船橋市行財政改革推進プランの一環で

年頭のあいさつ

第62代議長 ひいろ たけと 白色 健人



市民の皆様におかれましては、穏やかな新春をお迎えのことと、お喜び申し上げます。

私たち市議会は、市民の皆様の代表として、行政が適正に行われているかチェックをするとともに、条例を設けることや予算を定めることなど、議事機関としての様々な役割を果たしています。

昨年、市議会議員の改選が行われ、新人議員も加わり、市議会はより活性化してまいりました。より良い議会運営や、市民の皆様に議会をより身近に感じていただくための広報・広聴のあり方などの議論も活発に行われています。

こうした議会の活動を、市民の皆様にわかりやすく、多くの方々に知っていただけるよう、今年度より年4回発行の市議会だよりを全戸配布としたほか、本会議・委員会の生中継や録画映像のインターネット配信などの情報発信を行っております。是非、ご覧いただきたいと思います。

私も議長として、引き続き、適正かつ公正中立な議会運営に徹するとともに、市民の皆様の声を「議会として」受け止め、市政に反映することで、議会と市民の皆様との関係をより深く強いものとしていけるよう議会運営に取り組んでまいりたいと考えています。

今後も市議会の活動に、一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のお声を議会にお寄せいただければ幸いです。市民の皆様にとりまして、本年が素晴らしい1年でありまよう、お祈り申し上げます。

令和元年第3回定例会は、令和元年11月18日から12月20日までの33日間の会期で開かれました。

今定例会では、市長から38議案、議員から3議案が提出されました。「船橋市行財政改革推進プラン」の一環で複数の公共施設の使用料を見直す各条例改正議案のほか、市長や議長等の報酬等に関する条例改正議案について、議員提出の修正案を含む38議案を可決しました。

— 目 次 —

議案等の概要、議案等の議決結果 … P.2、3

議案質疑…………… 4

各委員会の報告…………… 5

会派の抱負、会派の構成…………… 6～9

一般質問…………… 10～14

閉会中の委員会報告、
特別委員会の活動、お知らせ …… 15、16

議案等の概要

今定例会に市長及び議員が提出した議案等の内容です。

令和元年度補正予算

○一般会計補正予算 【第1号】

補正額 26億5302万7千円の増額

○病院事業会計補正予算 【第2号】

補正額 6億6千万円の増額

○下水道事業会計補正予算 【第3号】

債務負担行為
限度額 5億2423万2千円

新しい条例

○無料低額宿泊所の設備及び運営に関する基準を定める条例 【第6号】

社会福祉法の一部改正に伴い、無料低額宿泊所の設備及び運営に関する基準について、所要の定めをするもの。

○生産緑地地区の区域の規模に関する条件を定める条例 【第11号】

生産緑地法に基づき、生産緑地地区の区域の規模に関する条件について、所要の定めをするもの。

改正する条例

○行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例 【第5号】

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に伴い、個人番号の利用について、所要の定めをするもの。

○市民センター条例の一部を改正する条例 【第7号】

使用料の受益者負担の適正化を図るため、所要の改正を行うもの。

○霊園条例の一部を改正する条例【第8号】

管理料の受益者負担の適正化を図るため、所要の改正を行うもの。

○霊堂条例の一部を改正する条例【第9号】

使用料の受益者負担の適正化を図るため、所要の改正を行うもの。

○勤労市民センター条例の一部を改正する条例 【第10号】

利用料の受益者負担の適正化を図るため、所要の改正を行うもの。

○自転車等駐車場条例の一部を改正する条例 【第12号】

新たに自転車等駐車場を設置するについて、その名称、位置及び使用料を規定等するもの。

○都市公園条例の一部を改正する条例 【第13号】

使用料等の受益者負担の適正化を図るとともに、運動公園及び法典公園の管理を指定管理者に行わせるため、所要の改正等を行うもの。

○下水道条例の一部を改正する条例 【第14号】

使用料の算定方法等について、所要の改正等を行うもの。

○手数料条例の一部を改正する条例 【第15号】

建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律の一部改正に伴い、建築物エネルギー消費性能向上計画の認定の申請に係る手数料について、規定の整備を行うもの。

○プラネタリウム館条例の一部を改正する条例 【第16号】

観覧料の受益者負担の適正化を図るため、所要の改正を行うもの。

○公民館条例の一部を改正する条例 【第17号】

使用料の受益者負担の適正化を図るため、所要の改正を行うもの。

○視聴覚センター条例の一部を改正する条例 【第18号】

使用料の受益者負担の適正化を図るため、所要の改正を行うもの。

○市民ギャラリー条例の一部を改正する条例 【第19号】

利用料の受益者負担の適正化を図るため、所要の改正を行うもの。

○茶華道センター条例の一部を改正する条例 【第20号】

利用料の受益者負担の適正化を図るため、所要の改正を行うもの。

○少年自然の家条例の一部を改正する条例 【第21号】

使用料の受益者負担の適正化を図るため、所要の改正を行うもの。

○青少年会館条例の一部を改正する条例 【第22号】

使用料の受益者負担の適正化を図るため、所要の改正を行うもの。

○総合体育館条例の一部を改正する条例 【第23号】

利用料の受益者負担の適正化を図るため、所要の改正を行うもの。

○武道センター条例の一部を改正する条例 【第24号】

利用料の受益者負担の適正化を図るため、所要の改正を行うもの。

○運動広場条例の一部を改正する条例 【第25号】

使用料の受益者負担の適正化を図るため、所要の改正を行うもの。

○市立学校運動場夜間照明灯の使用に関する条例の一部を改正する条例【第26号】

使用料の受益者負担の適正化を図るため、所要の改正を行うもの。

○文化芸術ホール条例の一部を改正する条例 【第27号】

使用料の受益者負担の適正化を図るため、所要の改正を行うもの。

○特別職の職員の給与等に関する条例及び非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例 【第36号】

一般職の職員の給与改定にならない、市長等の特別職の職員及び議長等の期末手当の額の改定を行うもの。

○一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 【第37号】

官民較差の是正並びに国、県及び近隣市等との均衡を図るため、国家公務員に対する人事院勧告等にならない、一般職の職員の給与について改定を行うもの。

○印鑑条例の一部を改正する条例【第38号】

印鑑の登録資格について、所要の改正等を行うもの。

○証紙条例を廃止する条例 【第4号】

証紙による収入の方法を廃止するため、証紙条例を廃止するもの。

指定管理者の指定

○東老人福祉センター 【第28号】

公益財団法人船橋市福祉サービス公社

○中央老人福祉センター 【第29号】

社会福祉法人船橋市社会福祉協議会

○北老人福祉センター 【第30号】

社会福祉法人清和会

○西老人福祉センター 【第31号】

社会福祉法人船橋市社会福祉協議会

○南老人福祉センター 【第32号】

社会福祉法人聖進會

その他

○公の施設の区域外設置に関する協議について 【第33号】

1 船橋市の公の施設を市川市の区域内に設置するもの

(1) 公の施設の名称 船橋市道第00-182号線 他5路線

(2) 設置の場所 市川市柏井町1丁目1520-2地先 他5力所

- 2 市川市の公の施設を船橋市の区域内に設置するもの
- (1) 公の施設の名称 市川市道3285号 他9路線
- (2) 設置の場所 船橋市藤原1丁目14地先、船橋市藤原1丁目19515地先 他9力所
- 3 設置の理由 行政界の認定路線に係る管理区分の整理
- 千葉県と船橋市との間における公共下水道の使用料等の徴収等に関する事務の委託に関する規約の制定に関する協議について
- 上下水道料金の徴収一元化により下水道使用料等の徴収等を千葉県に委託するため、規約を制定することについて千葉県と協議するにあたり、議決を求めるもの。
- 市道の路線認定について
- 道路法に基づき、市道の路線認定をするもの。
- 議員提出議案
- 《意見書の提出》
- ◇被災者支援の抜本的強化と、災害に強いまちづくりを求める意見書
- 【発議案第1号】
- ◇地球温暖化対策の強化を求める意見書
- 【発議案第2号】
- ◇陸上自衛隊が運用する垂直離着陸輸送機「オスプレイ」が陸上自衛隊習志野駐屯地・演習場へ飛来することについて、地域住民への十分な説明を求める意見書
- 【発議案第3号】
- 修正案第36号について、議員が提出した修正案の内容です
- 市長等の特別職の職員及び議長等の期末手当の引き上げを、2年間(令和元年度及び2年度凍結するための修正を行うもの。

付託委員会	議案番号	件名	会派							無所属			議決結果
			自由市政会	公明党	市民連合	自由民主党	日本共産党	真政会	みらい船橋	※1	※2	※3	
予算決算	議案第1号	令和元年度船橋市一般会計補正予算	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	可決
	議案第2号	令和元年度船橋市病院事業会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第3号	令和元年度船橋市下水道事業会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	可決
総務	議案第4号	船橋市証紙条例を廃止する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第5号	船橋市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	○	×	×	×	×	可決
	議案第36号	特別職の職員の給与等に関する条例及び非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	修正可決
	議案第37号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	発議案第1号	被災者支援の抜本的強化と、災害に強いまちづくりを求める意見書	×	×	○	×	○	×	○	○	×	○	否決
健康福祉	発議案第3号	陸上自衛隊が運用する垂直離着陸輸送機「オスプレイ」が陸上自衛隊習志野駐屯地・演習場へ飛来することについて、地域住民への十分な説明を求める意見書	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	継続審査
	議案第6号	船橋市無料低額宿泊所の設備及び運営に関する基準を定める条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第28号	船橋市東老人福祉センターの指定管理者の指定について	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	可決
	議案第29号	船橋市中央老人福祉センターの指定管理者の指定について	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	可決
	議案第30号	船橋市北老人福祉センターの指定管理者の指定について	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	可決
市民環境経済	議案第31号	船橋市西老人福祉センターの指定管理者の指定について	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	可決
	議案第32号	船橋市南老人福祉センターの指定管理者の指定について	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	可決
	議案第7号	船橋市市民センター条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	×	○	×	×	○	○	可決
	議案第8号	船橋市霊園条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	×	○	×	×	○	○	可決
	議案第9号	船橋市霊堂条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	×	○	×	×	○	○	可決
建設	議案第10号	船橋市勤労市民センター条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	×	○	×	×	○	○	可決
	発議案第2号	地球温暖化対策の強化を求める意見書	×	×	○	×	○	×	○	×	×	○	否決
	議案第11号	船橋市生産緑地地区の区域の規模に関する条件を定める条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第12号	船橋市自転車等駐車場条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第13号	船橋市都市公園条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	×	○	×	×	○	○	可決
文教	議案第14号	船橋市下水道条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	可決
	議案第15号	船橋市手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第33号	公の施設の区域外設置に関する協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第34号	千葉県と船橋市との間における公共下水道の使用料等の徴収等に関する事務の委託に関する規約の制定に関する協議について	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
	議案第35号	市道の路線認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
付託省略	議案第16号	船橋市プラネタリアム館条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	×	○	×	×	○	○	可決
	議案第17号	船橋市公民館条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	×	○	×	×	○	○	可決
	議案第18号	船橋市視聴覚センター条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	×	○	×	×	○	○	可決
	議案第19号	船橋市民ギャラリー条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	×	○	×	×	○	○	可決
	議案第20号	船橋市茶華道センター条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	×	○	×	×	○	○	可決
付託省略	議案第21号	船橋市少年自然の家条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	×	○	×	×	○	○	可決
	議案第22号	船橋市青少年会館条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	×	○	×	×	○	○	可決
	議案第23号	船橋市総合体育館条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	×	○	×	×	○	○	可決
	議案第24号	船橋市武道センター条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	×	○	×	×	○	○	可決
	議案第25号	船橋市運動広場条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	×	○	×	×	○	○	可決
付託省略	議案第26号	船橋市立学校運動場夜間照明灯の使用に関する条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	×	○	×	×	○	○	可決
	議案第27号	船橋市文化芸術ホール条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	×	○	×	×	○	○	可決
	議案第38号	船橋市印鑑条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

※1～※3の議員名については、P6.「会派の構成」をご参照ください。

付託委員会	受理番号	件名	議決結果		
			採	不採	採
総務	陳情第16号	船橋市自主防災組織補助金交付規則を条例化することを求める陳情	不採	採	採
	陳情第17号	船橋市との調整、斡旋に関する陳情	不採	採	採
	陳情第18号	船橋競馬の運営を中央競馬会(中山競馬場)へ委託変更に関する陳情について	不採	採	採
健康福祉	陳情第19号	船橋市社会福祉施設整備費補助金の交付に関する規則を条例化することを求める陳情	不採	採	採
	陳情第20号	船橋市地域生活支援事業所の登録に関する規則を条例化することを求める陳情	不採	採	採
	陳情第21号	船橋市地域生活支援サービス事業費の支給に関する規則の条例化を求める陳情	不採	採	採
	陳情第22号	市の地域生活支援関連事業の見直しにおける施策決定の根拠・判断基準の提示等を求める陳情	不採	採	採
	陳情第23号	市の地域生活支援関連事業の見直しにおける議会の注視及び熟議を求める陳情	不採	採	採
市民環境経済	陳情第11号	市内の児童ホームに冷暖房設置の早期実現を求める陳情書(継続審査事件)	採	採	送付
	陳情第24号	船橋市町会、自治会等交付金交付規則を条例化することを求める陳情	不採	採	採
	陳情第25号	東武船橋駅から東武野田・春日部経由の日光鬼怒川行き直通特急電車を走らせるに関する陳情	不採	採	採
建設	陳情第26号	船橋市環境整備事業の補助等に関する規則を条例化することを求める陳情	不採	採	採
	陳情第27号	(仮称) EXC 船橋海神建設計画に対する指導等に関する陳情	不採	採	採
	陳情第13号	船橋市内で初めて確認された「前方後円墳」出土跡地の記念公園整備に関する陳情について(継続審査事件)	継続審査	採	採
文教	陳情第28号	船橋市私立幼稚園就園奨励費補助金交付規則を条例化することを求める陳情	取下承認	採	採
	陳情第29号	文教委員会内に公民館運営方策検討会の設置を求める陳情	不採	採	採
	陳情第30号	「日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書」の採択を求める陳情書	不採	採	採

議案等の議決結果の詳細は、市議会ウェブサイトをご覧ください。左記の市議会URLを検索するか、下のコードを読みとりご覧ください。
<https://www.city.funabashi.jp/assembly/001/32/003/p075037.html>



議案質疑

今定例会に提出された議案について、質疑したものです。

みらい@船橋

朝倉 幹晴・池沢 みちよ

第2号

質問 2018年11月を境にキートルダの使用が増えた理由は。

答 副病院局長 ガイドライン改訂で抗がん剤併用の療法を受けられる方が増加。

第13号

質問 市民への周知が足りない。市民の意見を聞いて頂きたいが、いかがか。

答 市長 指摘された点は十分踏まえた上で今後対応していきたい。

無所属

はまの 太郎

第28号～第32号

質問 指定管理者の変更は、施設のサービスの継続性に問題があるのでは。

答 健康・高齢部長 老人福祉センター利用者に不都合が生じないよう協定書に基づきスムーズな引き継ぎを指導したい。

無所属

今仲 きい子

第11号

質問 生産緑地地区の指定面積引き下げにあたり、より一層、近隣住民の農業に対する理解は欠かせない。対応策は。

答 経済部長 農地を利用した防災訓練など理解を得るための施策を講じている。

自由市議会

米原 まさと

第13号

質問 文化サークルや地域活動にも利用され公民館的な側面を持つ法典公園で、駐車料を取ることは他施設との整合性は。

答 企画財政部長 法典公園は、基本的には今回の有料化の対象としていているスポーツ・レジャー施設として捉えている。

質問 受益者ではない運営関係者やボランティア等、イベントに協力している方々からも駐車料金を徴収する予定か。

答 生涯学習部長 負担となる部分については一定の配慮が必要である。

公明党

松橋 浩嗣

第16号

質問 プラネタリウム館の一般観覧料値上げにより利用者が減るような影響は。

答 学校教育部長 高校生以下の観覧料は値下げになるので、高校生や親子連れを中心に広報活動を強化し利用者減にならないよう努める。市内の高等学校や近隣市にも広く広報活動を充実させ、一は

やぶさ2」など、興味ある話題や新しい情報も取り入れる。市民及び幼児・児童・生徒の天文に関する興味関心を高め、科学教育の振興を図り利用者増に努めたい。

市民民主連合

高橋 けんたろう

第7号～第10号・第13号・第16号～第27号

質問 施設の受益者負担割合の決め方が抽象的。市民も理解しがたい内容となっている。これらは市民感覚と乖離があると考えるが、見解は。

答 企画財政部長 受益者負担割合は、公益性と市場性の2つの基準により設定している。使用料の算出方法は、施設によって複雑な計算となつてしまい、利用者にご理解いただくためには、十分な周知を図っていく必要があると考える。

自由民主党

長野 春信

第7号～第10号・第13号・第14号・第16号～第27号

質問 市民に負担を強いることは民意を得られない。まずは行政自身が身を切る改革をすべきでは。

答 市長 職員の給与適正化を行ったことにより、指標となるラスパイレズ指数が平成30年4月に県内54市町村中33位となった。今後も総人件費の抑制や職員採用数の厳格化によるスリムな組織づくり、事務事業の効率化を行い、市民の皆様を理解いただける市政運営に努めたい。

日本共産党

松崎 さち

第13号・第21号～第25号

質問 スポーツが生きがいという、運動公園の体育館利用者が2倍の値上げや駐車場有料化に衝撃を受けている。「バレーボールチームを抜ける人が出てくるかも。スポーツ健康都市宣言をしながら」ということが。「この声をどう思うか。

答 山崎副市長 多くの市で計算している受益者負担のルールを活用した。

質問 スポーツは人権である。本来は無料であるべきで、値上げは許されない。

答 市長 将来等を考えると相容れない。

真政会

齊藤 和夫・石川 りょう

第28号～第32号

質問 災害時の市との連携について、老人福祉センターの指定管理者と細目を定めておく必要があるが、市の見解は。

答 健康・高齢部長 基本協定書の内容について担当部署と調整し検討していく。

第36号

質問 行革で市民に負担を強いる一方で、特別職の期末手当を上げる理由は。

答 辻副市長 公務員は労働基本権が制約されており、人事院勧告に基づいた対応を取ることが大原則だと考えたため。

各委員会の報告

委員会付託された議案・発議案・陳情について、それぞれ担当する内容を専門的に話し合い、委員会としての結論を本会議に報告します。

予算決算委員会

議案

第1号は、無所属の委員から組み替え動議が提出された。討論は、原案及び組み替え動議を一括して行い、組み替え動議に賛成の立場で、「市民負担増やサービス低下につながる行革という名の悪政を撤回させるものであり、賛成」「説明が不十分で納得できない点の改善を求めるものであり、賛成」「利用者の負担増を伴うシステム改修等の検討や説明等が不十分である」との討論があった。

採決の結果、組み替え動議は否決され、原案を賛成多数で可決した。

総務委員会

議案

第36号は、自由市政会の委員から修正案が提出された。討論は、「行財政改革に対する私たちが負うべき責任を果たすことと、本議案は別のものと考えている」との原案賛成討論、「修正案をもって行革の免罪符にすることは許されない」「労働基本権のない議員や特別職が人勸に準じることは、反対」「特別職、議員がまづ身をもって自らの待遇改善を行わない姿勢を示すべきである」との原案及び修

正案反対討論、「引き上げ額を据え置く期間に、市も議会も現状の課題を整理した上で臨めるところにいる」との修正案賛成・修正以外の原案賛成討論があった。

採決の結果、修正案は賛成多数で可決し、修正議決した部分を除く原案は賛成多数で可決した。

健康福祉委員会

議案

第28号は、「サービス低下や人件費抑制につながることで、福祉避難所に関する取り決めに指定管理者決定後に行うこと等の問題があり、反対」「これまで以上に幅広く民間業者に広報すること、公募制度の改善に取り組むこと、管理運営に対する評価制度の充実を求め、賛成」「巡視を担当する方はホームヘルパー2級等の資格をほぼ持っており素晴らしい。また来たいと思える施設運営を目指すことを要望し、賛成」「利用者から評価され、福祉の充実等に貢献しており、賛成。ただ、指定管理者の実施のモニタリングを含め、選定方法を精査し取り組むことを要望し、賛成」との討論があった。

採決の結果、賛成多数で可決した。

市民環境経済委員会

議案

第7号は、「公共施設は、地域住民のために供されるものと認識している。住民の方々が多様化している今、受益の偏在を確認しつつ、新しい受益についても含んでいくことを今後要望する」「一番気になるのは稼働率の低さである。市民センターとしての特色を広く市民にお知らせして、利用率を上げる努力をすることとを要望する」との賛成討論があった。

第8号は、「今回の管理料改定では新しい案が示された。管理料収入による霊園経営が確立すると認識し、霊園の永续性を担保することになり、また、墓地使用料収入が今後の次期整備計画の財源にもなると考える」との賛成討論があった。

採決の結果、第7号及び第8号は賛成多数で可決した。

建設委員会

議案

第13号は、「市民に、お知らせ・お示し、声を聞いた上で料金の改定を進めるべき」「利用した人が維持管理費を払う、受益者負担を求める施設に、都市公園の位置づけを変えていくことになる。市民

の意見も聞かずに値上げするのは、市民との関係性に深刻な影響が出る」との反対討論、「実施までにはしっかりと利用者に説明し、サービス向上のために不断の努力をし、不便をかけ、指摘があった場合は、すぐに改善する姿勢を持ち続けるよう求める」との賛成討論があった。

採決の結果、賛成多数で可決した。

文教委員会

議案

採決の結果、第16号から第27号までは賛成多数で可決した。

なお、「議案第16号から議案第27号までの条例改正は、市民生活に多大な影響を与えるにもかかわらず、議案審査の過程において、使用料改定の根拠の説明が明確になされないなど、その改正理由について、説明責任を十分に果たしているとは言いがたい。よって、当該条例施行までの間に、審議の過程において指摘された課題・問題点について誠実に対応し、本委員会に対しその状況を報告することともに、市民（利用者）からの意見聴取及び市民（利用者）に対する説明を丁寧に行うよう、強く要望する」との附帯決議を、全会一致で可決した。

会派の抱負

自由市政会



大沢 ひろゆき 滝口 一馬 小平 奈緒 藤代 清七郎 林 利憲 米原まさと
島田 たいぞう 川井 洋基 渡辺 賢次 中村 静雄 大矢 敏子 日色 健人

新春のお喜びを申し上げます

本年が、市民の皆様にとり幸多い年となりますようお祈り申し上げます。

私たち自由市政会は、保守系議員で構成される、市議会最大会派です。

議長をはじめ、ベテランから若手まで、多種多様な経験と見識を有する12名が心ひとつに活動しています。

人口が64万人になろうとしている、本市の抱える問題点は今なお山積しており、議会の役割は益々重要となってきます。私たちは市民の代表として市政をチェックし、地域に根差した活動を通じて、行政に対してしっかりと提案をし、皆様の声を活かしたまちづくりを目指していきます。

新たな令和の時代にあっても「守るものは守り、改めるべきものは改める」という良識ある保守の立場から、将来につながる市政の発展に貢献してまいります。

会派の構成											
(令和元年12月20日現在)											
自由市政会											
大沢ひろゆき 林 利憲 米原まさと 小平 奈緒 藤代清七郎 滝口一馬 日色健人 島田たいぞう 渡辺賢次 川井洋基 中村静雄											
公明党											
上田 美穂 鈴木 心一 桜井 信明 木村 修 松橋 浩嗣 橋本 和子 松川 浩子 石崎 幸雄 松崎 裕次 鈴木 いくお											
市民民主連合											
宮崎なおき 高橋たけし 三橋さぶろう 岡田とおる つまがり俊明 浦田 秀夫 神田 廣栄 斎藤 誠											
自由民主党											
いとう紀子 長野 春信 佐々木克敏 杉川 宏 浅野 賢也 滝口 宏 七戸 俊治											
日本共産党											
神子そよ子 坂井 洋介 松崎 さち 金沢 和子 岩井 友子											
真政会											
石川りょう 齊藤 和夫 鈴木 和美											
みらい@船橋											
池沢みちよ 朝倉 幹晴											
無所属											
はまの太郎※1 小川 友樹※2 今仲きい子※3											

会派の抱負

公明党



木村 修 桜井 信明 鈴木 心一 上田 美穂 松橋 浩嗣
橋本 和子 石崎 幸雄 鈴木 いくお 松寄 裕次 藤川 浩子

新年あけましておめでとうございます

公明党市議団10名は、胸中に初日の出の太陽のごとく、新たな決意で出発いたしました。昨年10月には、幼児教育・保育の無償化がスタートいたしました。実態調査も実施させていただき、様々なご意見をいただきました。その声をさらに活かし、次代を担う未来の宝の育成と子育て支援に全力投球してまいります。

市民の皆さま、お一人おひとりのご健康と益々のご多幸をお祈り申し上げます。



今仲 きい子

無所属

研鑽を積み尽力すること
を決意すると共に、皆様にと
って幸多き一年となること
をお祈り致します。



小川 友樹

無所属

風林火山
不屈の精神で弱い人を
守ってまいります。
今年もよろしく
お願いいたします。



はまの 太郎

無所属

子ども達に、お年寄りに、
障がいのある人にも
ない人にも、
やさしい街づくりを目指し
ます。

会派の抱負

市民民主連合



宮崎 なおき 岡田 とおる 高橋 けんたろう 三橋 さぶろう
 斉藤 誠 神田 廣栄 浦田 秀夫 つまがり 俊明

明けましておめでとうございます。

市民と共に *ONE TEAM*

- 1、健康寿命の延伸！
- 2、保育園・放課後ルーム 待機児童ゼロ！
- 3、介護離職ゼロ！
- 4、農業・漁業・商工業者 後継者を応援！

真 政 会

新年を迎え皆様のご健康とご多幸を
お祈り申し上げます。

政党無所属議員の集まりである私たちは、何よりもより良い市政の実現を優先し議会機能の向上に努めてまいります。



齊藤 和夫 鈴木 和美 石川 りょう



朝倉 幹晴 池沢 みちよ

みらい@船橋

市民の皆さまの声をお聴きし
市民によりそい
住民福祉の向上をめざします。

会派の抱負



自由民主党

浅野 賢也 佐々木 克敏 いう 紀子 長野 春信
滝口 宏 七戸 俊治 杉川 浩

新春明けましておめでとうございます

私達自由民主党は、国政を託された政権与党として、地域社会の住民の意思によって行なわれるべき地方自治の本旨に基づき、全ての市民に対して公平・公正で一定の評価をいただける市政を目指し、更なる地域福祉向上へ向けて活動して参ります。

政治を変える希望の年に

消費税が10パーセントに増税され、私たちの生活に深刻な打撃を与えています。その一方で、「桜を見る会」では公的行事の私物化、大学入学共通テストでは「身の丈」発言、アメリカから戦闘機を“爆買い”するなど、安倍政権と国民生活の矛盾はますます広がっています。

船橋市も財政力がありながら、「行革」という名で、公民館・ホール・運動広場・下水道などの使用料値上げをすすめ、私たちの負担を増やしています。こうした政治と暮らしの矛盾が広がる中で、政治を変えようという市民と野党の共同が着実に前進しています。

日本共産党は、この共同を広げるために力を尽くします。

日本共産党



神子 そよ子 岩井 友子 松崎 さち
金沢 和子 坂井 洋介

一般質問

市の一般事務に関して、事務の執行状況、あるいは報告や説明を求めるものです。将来の方針等の所信や疑問をただし、

企画・財政

北総鉄道の運賃引き下げを

日本共産党 神子 そよ子

質問 京成電鉄や北総鉄道の不公平なやり方を正していただきたい。見解は。
答 企画財政部長 必要な対策については今まで以上に行わなくてはならない。



市北部の小室駅周辺の風景

オスプレイと防災対策

日本共産党 金沢 和子

質問 習志野市・八千代市と連携し、防災対策として陸上自衛隊オスプレイが本場に役立つのか国に説明を求めるべき。

東葉高速鉄道の運賃値下げを

答 山崎副市長 本市だけの問題ではない。県も含め情報共有を図る必要がある。

質問 国に対する抜本的な支援策の検討に関する要望活動の回答を求めるべき。

答 企画財政部長 国も参画する東葉高速目立支援委員会等で考えを確認したい。

台風の際の市ホームページへのアクセス

日本共産党 坂井 洋介

質問 台風15号・19号の際、市のホームページへのアクセスの遅延が生じた。市のホームページは県のセキュリティクラウドを通る運用となっており、このクラウドは本市だけでなく他の自治体も利用しているため、災害時にはアクセスが集中してしまう。県のクラウドの増強を求めるか、市独自のセキュリティ対策を取るなど改善を求めるが見解は。
答 総務部長 現在、本市においても改善を検討しているところである。

JR船橋駅南口西武船橋店跡地の活用

自由民主党 浅野 賢也

質問 西武船橋店閉店後2年近くが経過したが、今後の利用計画を伺う。

答 企画財政部長 相手方からホールの設置とともに、今の文化ホールがある土地を買い取る提案を受け、その土地に併設されている中央公民館の取り扱いにつ



JR船橋駅南口の西武船橋店跡地

いても提案を求めた。現在、協議を進めているが、最終的な提案は受けていない。

会議・イベントスペース

質問 市内には、大規模な会議場、イベントスペース等が少なく、市内にこれらを賄えるホテルも少ない。JR船橋駅周辺だけでなく、アクセスの良いJR西船橋駅、津田沼駅周辺等で必要と考えるが、この状況をどのように捉えているのか。

答 企画財政部長 市内の大規模人数を収容できる会議場等を有する施設は、ホテル等の撤退とともに減少している。大

規模会議等を行う際は、他市の会場を利用するという声も聞いているが、施設の整備費、運営費等が多額になり、採算性の確保が非常に難しいとも聞いている。

行財政改革

真政会 石川 りょう

質問 行財政改革の目的は、将来の船橋市に必要な政策を実現するための財源を生み出すこと。今こそ本市にとって真に必要なと考える事業を明確に示した上で、既存事業の見直しを市民に願う姿勢が必要と考える。市の見解は。

答 企画財政部長 現状のままでは早晩立ち行かなくなる財政運営や、事業のあり方等の見直しを行い、様々な改革に取り組む。結果として生み出された財源を今後の社会情勢の変化に対応できるように真に必要な事業に振り分けていきたい。

指定管理者制度

真政会 齊藤 和夫

質問 制度導入に向けて、質の良いサービス、住民の満足度向上に結び付けていく意識は庁内で共有されているのか。

答 企画財政部長 ガイドラインによる明文化で関係部署の職員の具体的検討が容易になり、意識転換を図れたと考える。

質問 災害時対応協力について、指定避難所ではない一般の施設も指定管理者と協定を結ぶべきと考えるが見解は。

答 企画財政部長 非常時の役割分担等について事前に取り決めるを行うことが可能か、関係部署と協議していきたい。



指定管理者制度導入施設である老人福祉センター

広報に関する災害時応援協定

無所属 小川 友樹

質問 災害時応援協定締結の効果は。

答 山崎副市長 災害のため市の情報発信が著しく困難になった場合、市民に緊急に知らせるべき情報を放送できるよう締結。様々な情報発信の一つとして補完的な効果をもたらしていると考ええる。

質問 NHKと協定を締結しているか。

答 山崎副市長 締結していない。

多文化共生社会の実現に向けて

自由市政会 藤代 清七郎

質問 外国人居住者への日本語教育に

ついて、現状を伺う。

答 山崎副市長 船橋市国際交流協会が運営主体となり公民館等8ヶ所で授業を行い、延べ100名のボランティアが227名の外国人学習者に支援をしている。

開票作業中における災害対応

自由市政会 林 利憲

質問 事前の周知、対応策をとる必要があると考えるが本市の考えを伺う。

答 選挙管理委員会事務局長 事務従事者の避難行動対応の考え方を整理する。

市職員への手話研修の実施を

公明党 上田 美穂

質問 実施の考えはあるか問う。

答 総務部長 庁内需要や他市の状況を見ながら福祉部局とも連携し研究したい。

経済・産業

移動販売車レジ待ちの高齢者の負担軽減

市民民主連合 高橋 けんたろう

質問 折り畳み式ベンチの用意など、高齢者への配慮について事業者に提案を。

答 経済部長 高齢の利用者が多いことを鑑み、事業者とさらに協議したい。

BCP(事業継続計画)策定支援

公明党 鈴木 心一

質問 停電や断水を広域にもたらした台風から企業のBCP策定の重要性を痛感。策定後の訓練や見直し、耐震化や備蓄、自家発電機の備えができて効果が発揮される。特に医療・介護事業所は市民

の命を守る使命がある。BCP策定や自家発電機等の費用助成制度を創設すべき。

答 経済部長 まずは被災しても事業継続できる能力の強化を促すことが重要。また国の認定制度で中小企業が自家発電機等の防災・減災設備を取得した場合の税制優遇がある。併せて周知を図りたい。

台風15号による被災農業者への復旧支援

自由市政会 藤代 清七郎

質問 経費の補助について、県は対象事業費に下限を設けているが、本市は。

答 経済部長 現時点では、事業費の下限は設けずに被災農業者支援を行いたい。

防災

台風時の河川水位情報・ハザードマップ

みらい@船橋 朝倉 幹晴

質問 台風の際、市内河川の水位情報を市民は求めた。情報発信すべきだが、県管理9河川、市管理42河川での測定は。

答 下水道部長 水位計による観測箇所を29ヶ所設置し避難指示等に努めている。

質問 洪水だけでなく内水氾濫の危険性も含めたハザードマップに改訂を。

答 山崎副市長 内水氾濫も加味したい。

災害時の避難所対策

自由市政会 大沢 ひろゆき

質問 台風時、夏見台小や運動公園に避難所を開設しなかったが、今後全小中学校で開設する考えは。また、要配慮者に対して避難所までの送迎は出来ないか。

答 山崎副市長 PRの仕方を含め検討課題と考えている。要配慮者の避難も色々な問題があり、検討課題としたい。

災害対策(障がい児・者支援)

市民民主連合 つまがり 俊明

質問 障がい者の避難先は小中学校より配慮が必要な方は公民館などの福祉避難所、さらに福祉施設というような段階を経ていく。移送訓練や移送手段の確保、また保護者への周知は充分か。

答 山崎副市長 障害者施設への移送訓練は行われていない。訓練実施・要配慮者の支援について、検討していきたい。また保護者への避難場所の周知について具体的方法を取り決め、PRを進めたい。

災害と防災対策

市民民主連合 神田 廣栄

質問 今年は台風等で甚大な被害が発生した。街路樹の倒木が原因の停電対策、他市からの災害廃棄物の受け入れ状況は。

答 道路部長 点検にあわせ、事前に枝葉を切り落とすなど倒木の防止に努めていく。電線等に絡んだ樹木は、電線事業者と調整を密にし、事前に対応していく。

答 環境部長 12月2日時点で約220トン。延べ255名の人的支援の派遣も行った。

アナログ式防災ラジオの取り替え整備を

日本共産党 神子 そよ子

質問 デジタル対応の製造開発を待つのではなく、他市の導入事例等の検討を。

答 山崎副市長 全て取り替えることは

困難。アナログ波がなくなった後の課題については国に働きかけるなどしたい。

「土のうステーション」の整備を

公明党 桜井 信明

質問 水害時、円滑に市民が土のうを準備できるように設置してはいいかがか。

答 山崎副市長 他市の状況を整理し、関係部署と協議したい。



災害時に土のうを取り出せる、市川市の「地域型小規模土のうステーション」

生活・安全

火災発生後放置された所有者不明の土地

自由市政会 渡辺 賢次

質問 指導する所管がないとのことだが、所有者不明土地の利用の円滑化等に關する特別措置法の施行に伴い、市で

きることがあると思うが。

答 市民生活部長 火災で焼失した家屋は、国のガイドラインにより一部でも残っている家屋は空家として認識し、空家担当部署が対応することとなっている。市民安全推進課が対応する場合には空家等対策の推進に關する特別措置法により所有者または相続人の調査を行い、相続人等がわかれれば適正な管理を促していく。

防犯灯設置費補助金

公明党 橋本 和子

質問 LED化を進めているが約3割が変えていない。町会・自治会は、工事代金を一旦全額立て替え、支払った後に補助金が振り込まれるが、費用が工面できない町会等は二の足を踏んでしまつて立て替えなくても良いようにできないか。

答 市民生活部長 補助金交付手順の変更は、LEDの設置促進の観点から必要要件を認識する。交付手順を変更することで工事を行いやすくなり、町会・自治会から多くの要望を受け付けられることから、対応に向け検討したい。

空家問題に早急な対応を

日本共産党 岩井 友子

質問 台風で空家問題も浮き彫りになった。職員体制が不十分で対策が行えず、市民は不良空家によって危険や有害な状況にさらされている。市の認識は。

答 市民生活部長 解決に至っていない空家の件数も増加している現状である。

質問 老朽化空家の除却対策も実施で

きず、職員の実態も放置できない状態で、市長はこの問題にいつ着手するのか。

答 市長 職員数は把握していないからなので担当部署と話す。除去も検討したい。

子育て・健康・福祉

妊娠している女性への支援のあり方

無所属 はまの 太郎

質問 マタニティマークは、妊娠している女性が身につけることで公共交通機関を利用する際に、座席を譲って頂く配慮をされやすくなること等を目的としている。認知度や課題についての認識は。

答 保健所理事 アンケート調査によれば約88%の方に認知されているが、ご存じでない方への周知を引き続き行いたい。

医療センターの建て替え

自由市政会 島田 たいぞう

質問 土地の確保について、見解は。

答 健康・高齢部長 保留地を取得予定。

放課後等デイサービス事業所

自由市政会 小平 奈緒

質問 急速に増えている放課後等デイサービス事業所の数は、療育内容等に差があることが問題になっているが、市は事業内容等を把握しているか。

答 子育て支援部長 令和元年11月1日時点で48ヶ所。質の向上を目指し、現在各事業所について施設巡回を行っている。

質問 利用を考えている人はどのような事業所を選べば良いか。

答 子育て支援部長 指導形態や療育内容等をまとめた一覧を作成しているほか、年1回合同説明会を開催している。

保育園周辺道路の安全対策

公明党 桜井 信明

質問 キッズ・ゾーンの創設について本市の見解を伺う。

答 子育て支援部長 日中行われる保育所等の園外活動等についてはさらなる安全対策が求められる。本市の実情に合わせた形で導入に向けた検討をすすめたい。

末期心不全の緩和ケア

公明党 上田 美穂

質問 医療センターで行われているか。

答 副病院局長 今後介入を図りたい。

生活支援コーディネーターへのサポート

質問 市の支援体制を伺う。

答 福祉サービス部長 市職員が今後可能な限り地域に出向きサポートしたい。

ロタウイルスワクチンの定期接種化

公明党 藤川 浩子

質問 2回と3回接種の効果の違いは。

答 保健所理事 効果に違いはない。

質問 定期接種の対象は2020年8月以降に生まれた0歳児だが、4月から7月生まれも市単独事業で対象とすべき。

答 保健所理事 疾病の蔓延予防の観点から費用助成の必要性を研究する。

新生児聴覚検査の助成制度

質問 県内統一の制度や市の体制は。

答 保健所理事 県は令和3年度に開始予定。本市もこの枠組みで準備している。

逆ヘルプマーク

公明党 木村 修

質問 手助けしたいとの気持ちを表す逆ヘルプマークについてどう考えるか。

答 福祉サービス部長 まずは手助けしたいという思いを育ててもらうことが第一歩。ヘルプマーク周知等を通じ、障害への理解を求める働きかけを進めたい。

重症心身障害児の通所施設

市民民主連合 宮崎 なおき

質問 今後も医療的ケアが必要な重症心身障害児の数は増加することが予測できるが、現状をどう捉えているか。

答 子育て支援部長 本市で重症心身障害児を受け入れている障害児の通所施設は2ヶ所あり、定員はそれぞれ5人。児童の利用形態は様々で、通所日数の必要数が多くなった場合には現状の定員数では少ないと思われる。また、2事業所とも藤原にあり、所在の偏りがある。

がん対策のための条例制定

市民民主連合 斉藤 誠

質問 条例を制定し、関係機関との連携強化、相談体制の充実等、がん対策を強化する必要があると考えるが見解は。

答 保健所理事 柏市、浦安市などで条例が制定されている。条例では、市の責務、市民の役割、がんの予防・早期発見、がん教育などの推進が明文化されている。条例化している市の状況を確認し、

本市のがん対策をさらに強化・推進することができると研究したい。

インフルエンザ対策

自由民主党 浅野 賢也

質問 インフルエンザの流行が既に始まっている。ワクチン接種の効果をどう考えているか。また、数年前にワクチンが不足したが、本年度の供給状況は。

答 保健所理事 インフルエンザの発病や発病後の重症化等を予防する一定の効果があるとされている。本年度の製造予定数量は、平成28年度以降最も多く、適切に使用すれば不足は生じない状況。

質問 予防接種の料金は、自由診療のため負担が高額になる。子どもの場合、2回接種が必要。本市は65歳以上の高齢者は自己負担1000円で接種できるが、この制度を子どもにも拡充できないか。

答 保健所理事 国では高齢者の定期接種を実施している。子どもにおいては、かつて重篤な副反応が疑われる症例が発生したことからの任意接種となったこともあり、現時点では助成は考えていない。

日中一時支援事業の報酬単価の見直し

みらい@船橋 池沢 みちよ

質問 時期を改めるべき。再検討を。

答 福祉サービス部長 検討したい。

まちづくり

船橋競馬場駅前歩道橋の設置

自由市政会 大矢 敏子

質問 千葉県が実施する交差点改良工事である、国道14号船橋競馬場入り口の老朽化した宮本歩道橋を船橋競馬場駅南口に接続・移設する計画を聞いたが、県事業の実現性と市民の安全確保は。

答 道路部長 県の所管課より「早期に着手し完成させたい意向で、関係機関と調整を進めている」と聞いており、実現性は高いと考えている。また、「食い違い交差点の改良や駅周辺の歩道整備も併せて実施する計画」と聞いており、市民の安心・安全に寄与すると考えている。



宮本町三丁目歩道橋の移設予定地(左の○)と既存の歩道橋(右の○)

法典公園テニスコート奥の駐車場の整備

自由市政会 川井 洋基

質問 本駐車場については今定例会で有料化等に係る条例改正議案が上程され

ているが、有料化のための工事費など初期投資とランニングコストを考慮すると投資対費用の回収は長期にわたり困難を極めると予想される。市の慎重かつ十分な精査が必要。そもそもこの駐車場は駐車場法及び同法施行令に適合しているか。

答 都市整備部長 現在、法典公園テニスコート奥の駐車場は、駐車場法に適合していない状況。法令適合化について関係部署と協議を進めていく。

建築物解体撤去工事による粉塵等の問題

自由市政会 大沢 ひろゆき

質問 市への届出時に防止策や規制を。

台風対応

自由市政会 滝口 一馬

質問 台風15号による海老川水門付近の床下浸水について、市の対応を伺う。

答 下水道部長 想定を超える雨量で、職員を増員した。今後は千葉県と協議して早目の水門操作など柔軟に対応する。

市道14-033号線での自転車等の通行

質問 本町通りから病院に抜ける一方通行の道は相互からの自転車等の交通量が多い。自転車等も一方通行にすべき。

答 道路部長 自転車の一方通行化について地域の意見も踏まえ県警と協議する。

河川等に設置している監視カメラ

市民民主連合 三橋 さぶろう

質問 市内の河川等への監視カメラの

設置状況は。また、水位がどのぐらいあるのか、市民にわかりやすくインターネット等で公開するべきでは。

答 下水道部長 河川や道路等に29ヶ所設置しており、降雨による状況の把握や浸水対策の検討のために使用している。また、アクセス数の制限等システム上の問題があるため、現段階では公開は難しい。今後、関係部署と協議していきたい。



河川等のそばに設置されている監視カメラ

環境

駅周辺の公共喫煙スペース

自由民主党 浅野 賢也

質問 船橋駅周辺は公共の喫煙スペースがなく、隠れて喫煙する人が多く見ら

れる。JR船橋駅、西船橋駅、津田沼駅周辺の喫煙所の設置要望に対する検討は。

答 環境部長 JR船橋駅周辺については、ある程度候補地が絞られているため、設置に向け協議を早急に進めていきたい。

タブレット端末を活用したごみ情報収集

公明党 木村 修

質問 市で仕組みを導入してはどうか。

答 環境部長 ごみ収集状況が把握できる等有効と考えており、導入による費用対効果等も含めて今後検討したい。

教育・文化

行田運動広場

公明党 鈴木 いくお

質問 市船軟式テニスの打球音の問題で、夏見運動公園のテニスコートの方が周辺に住宅がなく、移転すべきでは。

答 学校教育部長 一般の方の利用頻度が高く抽選で利用が決定している運動公園テニスコートへの移転は考えていない。

質問 グラウンドゴルフの団体が多数利用している。利便性の向上からホールポスの設置等をしていただきたいが。

答 生涯学習部長 ご高齢の皆様が気軽にご利用いただけるよう、ホールポスト等の整備について検討したい。

災害時の児童生徒の登下校対応対策

みらい@船橋 池沢 みちよ

質問 現在と今後の対応について伺う。
答 学校教育部長 各学校でマニュアル

を作成し対応しているが、判断基準等がわかるようなガイドラインを策定する。



子どもたちの安全確保のため、よりよいガイドラインの策定を

金杉台中学校の御滝中学校との統合

無所属 今仲 きい子

質問 統合の目的は何か。

答 管理部長 教職員、生徒ともに一定の集団規模が確保されている教育環境が望ましいが、その維持が難しくなるため。

質問 統合の検討は行革の一環か。

答 管理部長 望ましい教育環境を実現するための方策を検討しているもので、行革の一環で行っているものではない。

小中学生の日本の歴史認識と国語の授業

自由市政会 島田 たいぞう

質問 古事記や日本書紀、令和の典拠である万葉集を国語で教えているか。

答 学校教育部長 生涯にわたって古典に親しむ態度を育成する指導をしている。

第3次生涯学習基本構想・推進計画

質問 教育委員会での位置づけは。

答 生涯学習部長 全庁的な取組となる。

災害時における学校の対応

自由市政会 林 利憲

質問 児童生徒や本市で働く教職員のためにも災害時の登校に関するガイドラインを制定し、災害に備えるべきと考えるが、本市の考えを伺う。

答 学校教育部長 安全を確保し、被害の防止を図るために策定したい。

スポーツ健康都市宣言

市民民主連合 岡田 とおる

質問 宣言から36年が経過しているが、その効果をどう評価しているか。

答 生涯学習部長 宣言後、市立船橋高等学校に体育科を設置し、多くの運動部が全国大会等で素晴らしい成績を収めている。また、スポーツ施設の整備等を行い、宣言当時に比べ約52万人だったスポーツ施設利用人数が、平成30年度は約109万人にまで増え、スポーツに親しむ環境を一定程度整備できたと考ええる。

いじめ防止対策

市民民主連合 高橋 けんたろう

質問 いじめ防止基本方針の策定状況は。進捗状況について伺う。

答 学校教育部長 現在、策定に向け準備を進めている。

閉会中の委員会報告



議会の閉会中においても、所管に係る懸案事項などについて調査研究をします。
前定例会閉会後から今定例会開会前までに開催された各委員会の活動を報告します。

議会運営委員会



第3回定例会に提出される議案等の審議方法、会期や審議日程、一般質問の順序等について協議を行いました。また、「議会運営について」を調査項目として、名古屋市会、神戸市会、浜松市議会を視察しました。

11月7～8日 視察

・名古屋市、神戸市、浜松市（議会運営について）

11月13日 会議

・第3回定例会の審議日程等について ・提案事項について
・会派の態度表明について



神戸市での視察の様子

総務委員会



公文書管理について、内部統制について、船橋市津波避難計画（案）について、台風15号及び19号の被害状況について、所管課から報告を受け、質疑を行いました。

札幌市では、公文書管理条例・公文書館について、説明を受け、質疑を行いました。その後、公文書館を見学しながら説明を受けました。

宮城県では、内部統制について、説明を受け、質疑を行いました。

また、行政視察の振り返りを行いました。

10月11日 会議

・公文書管理について ・内部統制について

10月23～24日 視察

・札幌市（公文書管理条例・公文書館について）
・宮城県（内部統制について）

10月28日 会議

・船橋市津波避難計画（案）について
・台風15号及び19号の被害状況について ・行政視察の振り返りについて



宮城県での視察の様子

健康福祉委員会



10月9日、4市への視察に当たり、調査事項に関する本市の状況を調査しました。11月12日、継続審査中の陳情第11号に関し、市の児童ホームの現状について執行部に質疑を行い、同日、市内の児童ホームを視察しました。

10月9日 会議

・低栄養防止に着目した高齢者のフレイル対策について ・児童相談所について
・子供の貧困対策に係る取り組み状況について ・放課後児童クラブと放課後子ども教室の連携について
・閉会中の委員会活動について

10月29～31日 視察

・奈良市（児童相談所について）
・茨木市（放課後児童クラブと放課後子ども教室の連携について）
・彦根市（「彦根市子どもの貧困対策計画」の事業・施策の推進について）
・津市（低栄養防止に着目した高齢者のフレイル対策について）

11月12日 会議、視察

・陳情第11号 市内の児童ホームに冷暖房設置の早期実現を求める陳情書（継続審査事件）
・市内視察（西船児童ホーム、本中山児童ホーム、塚田児童ホーム）



西船児童ホームでの視察の様子

市民環境経済委員会



行政視察に先立ち委員会を開き、各調査事項に関する本市の状況調査を行いました。

行政視察では、初日にグリーンフィル小坂(株)を訪問し、調査事項に沿って説明を受け、質疑を行い、その後工場内及び最終処分場の施設を見学しました。2日目には青森市を訪問し、青森市中央卸売市場を見学したのち、グリーンツーリズムについての説明を受け、質疑応答を行いました。

10月10日 会議

・本市における一般廃棄物の処理状況について
・グリーンツーリズムについて ・船橋市における現状と課題について
・住民基本台帳に関する事務に係る特定個人情報保護評価の再実施について（報告）

10月24～25日 視察

・グリーンフィル小坂株式会社（最終処分場について／プラスチックごみの処理について／低炭素化社会について）
・青森市（青森市中央卸売市場について／グリーンツーリズムについて）

11月1日 会議

・振り込め詐欺対策電話機等購入費補助金の利用者に対するアンケート調査報告書～分析及び今後の対策～について（報告）



最終処分場での視察の様子

◎次の定例会は、2月14日(金)から3月25日(水)まで開会の予定です

請願・陳情の受理期限は2月13日(木)午後5時です

建設委員会



継続審査となった、陳情第13号の陳情者を参考人招致し、質疑を行いました。また、スケートボード練習場設置に関する陳情の状況報告及び法人の経営状況報告書に関する説明を受け、質疑を行いました。

10月25日 会議

- ・陳情第13号船橋市内で初めて確認された「前方後円墳」出土跡地の記念公園整備に関する陳情について（継続審査事件）
- ・スケートボード練習場設置に関する陳情の状況報告について
- ・法人の経営状況報告書について（公益財団法人船橋市公園協会）

10月30～31日 視察

- ・舞鶴市（舞鶴版コンパクトシティについて）
- ・高松市（地域公共交通施策について）

11月11日 会議

- ・法人の経営状況報告書について（株式会社船橋都市サービス）



舞鶴市での視察の様子

文教委員会



大阪市では、教職員の教育力向上の取組みの強化について等の説明を受け、質疑を行いました。

熊本市では、ICT教育・プログラミング教育についての説明を受け、質疑を行いました。

また、法典公園、運動公園、市立金杉台中学校を視察し、所管課等から現状等の説明を受け、質疑を行いました。

10月21日 会議

- ・行政視察のテーマに関する本市の状況調査について（「教職員の教育力向上の取組みの強化について」のうち、「大阪市版スクールロイヤー事業」「部活動指導員活用事業」「スクールサポートスタッフ配置事業」（大阪市）／ICT教育・プログラミング教育（熊本市））
- ・市内視察について

10月30～31日 視察

- ・大阪市（教職員の教育力向上の取組みの強化について／大阪市版スクールロイヤー事業、部活動指導員活用事業、スクールサポートスタッフ配置事業）
- ・熊本市（ICT教育・プログラミング教育について）

11月11日 視察

- ・市内視察（法典公園、運動公園、市立金杉台中学校）



運動公園での視察の様子

広報委員会



市議会だより240号の表紙の写真、タイトル等について協議・決定しました。また、市議会だよりの発行スケジュールや配布期間、委員会録画中継画面に議題毎の開始時間を表示すること等について協議を行いました。

10月4日 会議

- ・令和元年第2回定例会市議会だより240号について
- ・広報委員会の協議事項について（アンケートの実施について（報告）／市議会だよりの編集に関し専門家の評価を受けることについて（報告）／市議会だより発行のタイミング、発行日等について／委員会録画中継における各議題の開始時間表示について／参考人・視察について）

特別委員会の活動

総合計画に関する調査研究特別委員会

総務分科会、市民環境経済分科会、建設分科会を開き、所管する部局に関する事項に関し、所管課から説明を受け、質疑を行いました。

10月28日 総務分科会 会議

- ・船橋市総合計画後期基本計画概要
- ・計画の現在の状況について（総務委員会が所管する部局に関する事項のうち、企画財政部に関する事項）

11月1日 市民環境経済分科会 会議

- ・船橋市実施計画（平成30年度～32年度）について（市民環境経済委員会が所管する部局に関する事項のうち、市民生活部について／経済部、地方卸売市場及び農業委員会について／環境部について）

11月6日 総務分科会 会議

- ・船橋市総合計画後期基本計画概要
- ・計画の現在の状況について【総務委員会が所管する部局に関する事項】（税務部に関する事項／総務部に関する事項／消防局に関する事項／市長公室に関する事項）

11月11日 建設分科会 会議

- ・後期基本計画について【建設委員会が所管する部局に関する事項】